令和7年度市民提案協働事業 行政テーマ

- 健康寿命延伸のための目新しい取り組み
- 災害時のペットとの同行避難の講演会の開催
- 市内における市民活動団体ネットワークの構築

行政テーマシート

テーマ	健康寿命延伸のための目新しい取組
テーマを設定した背景や課題	<p>青梅市は、第7次総合長期計画において健康寿命日本一のまちを目指すこととしました。</p> <p>しかし、東京都の公表する令和4年度の都内自治体ごとの健康寿命数値によれば、青梅市は都内でも決して上位に位置しているわけではありません。</p> <p>この状況を打開するため、健康寿命延伸のための取組を市全体のムーブメントとして進めていくことが必要と考へており、その上で、行政の施す事業以外にも様々な健康づくりの取組があることが理想的と考えています。画一的な行政サービスの隙間を埋めるような取組が協働事業により実現されることに期待しています。</p>
これまでの市の取組み	<p>各種検診、健康講座、講演等の事業は、複数の部署で長らく実施されてきたところであり、加えて令和5年12月には健康ポイントアプリの運用を開始し、年齢、時間、場所等を問わず多くの人を取り組める健康行動の支援を新たに行うこととしました。</p>
提案団体への要望	<p>健康寿命延伸のために必要な要素として、一般的には「バランスの取れた食事、定期的な運動、良質な睡眠、ストレス管理、定期的な健康チェック、社会的なつながり、生活環境の整備」といったことが挙げられ、これらが少しでも良い状態に向かうための取組を求めています。市民の皆さまの様々なアイデアをもとにしたなるべく目新しい御提案をお願いいたします。</p>
担当課（予定）	健康課

行政テーマシート

テーマ	災害時のペットとの同行避難の講演会の開催
テーマを設定した背景や課題	<p>ペットの飼い主が、災害時にどのように行動するべきか、また事前にどんな準備が必要かが不明慮である。過去の災害でペットがいることで避難所に行くことを諦め被災にあってしまったケースもあった。また、ペットを飼っていない人にも、避難所には動物が来ることがあるということを事前に知ってもらうことで災害時のトラブルを回避することができるが、現在市ではそういった周知ができていない。</p>
これまでの市の取り組み	<p>平成30年3月に環境省から「人とペットの災害対策ガイドライン」が示された。このガイドラインに基づき、令和2年度にペットとの同行避難マニュアルを策定した。</p> <p>防災課主催の防災訓練に獣医師会と参加し、災害時のペットとの同行避難について啓発運動を実施。</p> <p>令和7年度に東京都の動物行政検討会の災害時の動物救護支援の講演会に参加した。</p>
提案団体への要望	<p>令和7年度にペットとの同行避難についての講義を市民向けに開催し、災害前の事前準備は何が必要か、また、災害時にどのような行動をとるべきかについて周知を行う。実際に被災地で動物救護支援の経験をした方が講演をすることで、実際の現場での対応方法等を周知してもらう。</p> <p>講演会を実施するにあたり、チラシやポスターの作成をすること。動物病院にもチラシを配架し周知すること。</p> <p>講演会に準じて、市の「災害時ペット同行避難マニュアルガイドラインの改定」に協力すること</p>
担当課（予定）	環境部環境政策課

行政テーマシート

テーマ	青梅市内における市民活動団体ネットワークの構築
テーマを設定した背景や課題	<p>令和4年度の市民提案協働事業で開催されたシンポジウムにおいて、様々なジャンルの市民活動団体が交流する場が提供され、団体間の交流に大きな活気を感じました。</p> <p>この交流が団体同士の刺激となり、互いに励まし合う環境が生まれる可能性が見出されました。</p> <p>しかし、現在の青梅市の状態では、市内に存在する数多くの市民活動団体を十分に把握できておらず、この状況は、市民活動を通じた協働によるまちづくりを推進する上で重大な課題と捉えています。</p>
これまでの市の取り組み	<p>令和4年度の市民提案協働事業においてシンポジウムを開催し、市民活動団体が交流する場を設けることができました。しかし、それ以降、団体同士の交流の場を設ける取り組みが十分に行われていない状況が続いています。</p>
提案団体への要望	<p>様々なジャンルの市民活動団体が横の繋がりを持ち、ネットワークの構築が進むような提案をお願いいたします。</p>
担当課（予定）	市民活動推進課